



ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

研究機関名	大分大学				
プログラム名	染色と刺繍を体験して、アジアの民族衣装を着てみよう！				
先生(代表者)	都甲 由紀子(とごう ゆきこ)・教育学部・准教授				
自己紹介	教員養成課程で被服学の研究・教育を担当しています。浴衣を縫ったり、染色や繊維に関わる実験をしたりする実習の授業もしています。専門は染色化学で、天然染料による染色の研究をしていて、ブータン・雲南省・ミャンマーなどの染織や刺繍の現地調査もしています。				
開催日時・募集対象	①令和2(2020)年12月5日(土)	受講対象者	中学生・高校生	募集人数	各回20名
集合場所・時間	オンライン開催(ZOOM使用)		(集合時間)	9:00受付 9:30開始	
開催会場	大分大学 教育学部 被服学研究室 住所: 〒870-1192 大分県大分市大字旦野原 700 番地 アクセスマップ: http://www.oita-u.ac.jp/category/dannoharu_map.html				
内 容					
<p>ふだんから誇り高く民族衣装を着て生活している人たちがブータンや雲南省、ミャンマーにいます。独特の民族衣装はどのようにして作られていると思いますか？</p> <p>それぞれ独自の染織刺繍技術を持っているのです。ブータンではラック色素やインドアカネといった天然染料で赤色系の糸を染めます。手織りで複雑な模様を入れたりもします。雲南省では少数民族の女性たちが様々な方法で刺繍をします。</p> <p>このプログラムでは、雲南省での研究の代表者である朝比奈はるか先生、ブータン刺繍作家の菊池多絵先生にもご参加いただきます。染色や刺繍の実習をして、私たちの研究内容について紹介します。</p> <p>ビデオ会議システム Zoom を用いて全て双方向オンラインで実施します。インターネット、PC またはタブレットなどで受講していただきます。染色と刺繍の材料や道具は各ご家庭にお送りします。染色には電子レンジを使います。</p>					
持ち物			特記事項		
パソコンかタブレット			オンラインで受講できる環境が必要となります。		
インターネット環境			染色と刺繍は、材料や道具を事前にお送りしますので、保護者の方と一緒に安全に配慮してご家庭で実施してもらいます。		
電子レンジ					

スケジュール

12月5日(土), 12月6日(日)とも同一日程

9:00- 9:30 受付(オンライン環境の設定と出欠確認)

9:30- 9:50 開講式(挨拶、自己紹介、1日のスケジュール確認)

9:50-10:20 講義(ブータン・雲南省・ミャンマーの民族衣装装着実演と解説)

10:20-10:30 休憩

10:30-12:00 染色実習(天然染料による刺繍糸とポケットチーフの染色, 染色のお話)

12:00-13:00 昼食

13:00-14:30 刺繍の実習 (ブータン刺繍作品紹介・染色した刺繍糸を使った刺繍)

14:30-15:00 休憩

15:00-15:45 講義(照葉樹林文化圏のフィールド調査と広域研究)

15:45-16:00 休憩

16:00-16:15 講義(研究職の仕事、科研費の説明)

16:15-16:30 修了式(アンケート記入、未来博士号授与)

16:30 終了

課題番号	20HT0215	分野	生活・自然	キーワード	アジア, ブータン, 雲南省, ミャンマー, 民族衣装, 染織刺繍
------	----------	----	-------	-------	-----------------------------------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	大分大学教育学部・都甲 由紀子
住所	大分県大分市大字旦野原700番地
TEL番号	097-554-7561
FAX番号	
E-mail	togo-yukiko@oita-u.ac.jp
申込締切日	2020年11月23日(月)
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2013年度 ~ 2015年度	若手研究(B)	25870561	ブータンにおける衣生活文化の保護と衣服材料生産に関する伝統知識の解明



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000040586195>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。